

「金山画伯旧宅之地」の碑 花隈町



日本芸術院会員の金山平三（1883～1964）は、近代日本の代表的風景画家である。東北（大石田、十和田、日本海岸）の風景を好んで描き、長崎や故郷神戸の風景も描いた。この金山画伯の旧宅が花隈にあり、「金山画伯旧宅之地」の碑があった。旧宅のあった場所は現在、花隈自治会館となっており、会館前に碑が設置されている。

場所：神戸市中央区花隈町 17-17